

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	実 習		
科 目 名	電装整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	1年前期	・ 木～金曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	53. 2時限（期末試験を除く）		
担当教員名	竹森 翔・山光 史哲		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる電流・電圧・抵抗の測定方法及び電装品の構造についての実習を実施する。		
授業の目的	自動車に使用されている基礎的な電装品の分解・各部品の名称を習得する。		
テキスト	①電装品構造 (国土交通省自動車交通局推薦) ②三級自動車ガソリン・エンジン (日本自動車整備振興会連合会 発行) ③二級ガソリン自動車・エンジン編 (日本自動車整備振興会連合会 発行)		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	リレー回路	リレーの概要説明 アナログテスタ・デジタルテスタを用いて測定	①・②・③
第2回	スタータ・モータ（直結式）	分解手順・名称・役割の習得	①・②・③
第3回	スタータ・モータ（直結式） スタータ・モータ（内接式）	分解手順・名称・役割の習得	①・②・③
第4回	オルタネータ（ファン内装式）	分解手順・名称・役割の習得	①・②・③
第5回	オルタネータ（ファン外装式）	分解手順・名称・役割の習得	①・②・③
第6回	半導体・ワイパー・ホーン	名称・役割の習得	①・②・③
第7回	コンデンサ・まとめ	名称・役割の習得 レポート提出	①・②・③
	ステップ試験（中間試験）	第1回から第7回までの授業内容に関する 実技試験	
	期末試験	第1回から第7回までの授業内容に関する 実技試験	
到達目標	自動車に使用されているスタータやオルタネータ等の構造・名称の習得。 半導体の仕組み・役割の理解。		

成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p style="padding-left: 40px;">中間試験の点数 30%</p> <p style="padding-left: 40px;">期末試験の点数 40%</p> <p style="padding-left: 40px;">平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p style="padding-left: 40px;">60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点＝可とする。</p>
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。